

【自由課題 一般部門（くらし・活力） 最優秀賞】



東北地方整備局 港湾空港部
港湾物流企画室

工藤 裕信

国内初の45フィート国際海上コンテナを利用した効率的な物流の実現

【研究（取組）概要】

45フィート国際海上コンテナは、2005年にISO（国際標準化機構）において規格化され、アジア主要国、米国～中国間において利用が拡大していますが、国内での利用は広がっていません。物流の効率化に取り組んでいる荷主企業からは45フィートコンテナ利用の要請が高まっていますが、現行制度では通行条件が厳しくなるため、ビジネスベースとしては普及しにくい状況にあります。本件は、行政及び関係機関が協働・連携し、公道輸送による実証実験を行うなど、45フィートコンテナによる効率的な物流の実用化に向けた課題解決に取り組む、国内で初めて45フィートコンテナ輸送の実用化が実現したものです。

【研究（取組）の特徴】

東北国際物流戦略チーム（東北経済連合会、東北運輸局、東北地方整備局）では、広域連携ならびに輸送モード連携などによる効率的な国際物流を提案するなど、国際物流における東北の競争力向上により、地域産業振興や地域の活性化に繋げることを目的として活動しています。その活動の中で、45フィートコンテナのニーズが見出されたことから、実用化へ向けた検討を行いました。

初めに、海上コンテナ輸送に関連する法令・基準関係を整理するとともに、国内では45フィートコンテナ対応のシャーシが製造されていないことから国内法令に適合した車両の組み合わせを検討しました。公道輸送による実証実験により、通行状況や安全性等を実証したことにより、45フィートコンテナ輸送の実用化を目的とした構造改革特区申請（基準緩和）への大きな後押しとなりました。

【受賞の感想・今後に向けて】

本取組み及び発表を契機に、国内での45フィートコンテナ輸送に関する課題解決に向けた機運の高まり、基準緩和及びシャーシ等に対する支援措置（財政支援）へと繋がることで更なる利用拡大を期待しています。また、東北国際物流戦略チームとして、荷主企業の発掘による輸出入バランスの解消、県境を越えた利用拡大を目指します。

本成果を踏み台に、45フィートコンテナが国内に普及することにより、グローバル企業の国際競争力の維持・強化に繋がり、産業振興や地域活性化の一助となることを期待しています。